

- 問1 日本国内で生産されるぶどうの出荷時期は、主に8月から10月頃に集中しますが、国内の小売店では1月から5月にかけてもチリ産のぶどうが広く販売されています。このように、北半球に位置する日本が、自国の収穫が行われない時期に南半球の国々から農産物を輸入する理由として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本と南半球の国々は距離が非常に近い
2. 南半球にある国々は日本と季節が全く同じであり、日本の需要が最も高まる夏に合わせて大量に輸出できるため。
3. 南半球の国々は日本とほぼ同じ緯度に位置しており、一年中同じ気候であるため、常に同じ品質の農産物を供給できるため。
4. 日本と南半球の国々では季節が逆転しており、日本が冬から春にあたる時期に、現地では収穫期を迎えるため。
- 問2 南半球に位置するオーストラリア東岸の都市と、北半球にある日本（東京）の気候を比較したとき、オーストラリア東岸の都市で見られる特徴的な現象として正しいものはどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 一年のうちで最も気温が高くなる時期に、降水量がほとんどなくなる
2. 一年を通じて気温の変化がほとんどなく、毎月200ミリメートル以上の激しい雨が降る。
3. 日本の夏休みにあたる8月ごろに、月平均気温がその年で最も低くなる。
4. 北半球の冬至にあたる12月ごろに、一年の中で最も気温が低くなり、降雪が見られる。
- 問3 サトウキビなどの植物を原料とする燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出するにもかかわらず、地球温暖化対策に有効であると考えられています。その理由として最も適切な説明はどれか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 化石燃料を燃やすよりも、発生する熱エネルギーが非常に大きい
2. 原料となる植物が、成長過程で大気中の二酸化炭素を吸収しているため。
3. 燃焼時に排出される二酸化炭素を、すべて液体にして地下へ埋めるため
4. 二酸化炭素よりも温室効果の低いガスに分解してから燃焼させるため。
- 問4 南アメリカ大陸にはかつて先住民による独自の文明が栄えていましたが、16世紀にスペインによって滅ぼされた文明の名前と、その後の植民地支配の影響によって現在もこの地域で広く信仰されている宗教の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. アステカ文明とキリスト教
2. インカ帝国とイスラム教
3. アステカ文明とヒンドゥー教
4. インカ帝国とキリスト教
- 問5 1901年に連邦政府を成立させたオーストラリアにおいて、白人中心の社会を維持するためにヨーロッパ系以外の移民を厳しく制限した政策を何といいますか。また、その政策が撤廃された時期とあわせて正しいものを選んでください。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 人種隔離政策（1990年代に撤廃）
2. 白豪主義（1970年代に撤廃）
3. アパルトヘイト（1970年代に撤廃）
4. 白豪主義（1940年代に撤廃）
- 問6 南アメリカ州のアンデス山脈に位置し、16世紀にスペイン人によって標高3000mを超える高地に建設された都市を有する国があります。この国の資源や産業の特徴について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 広大な熱帯雨林を背景に、世界最大の鉄鉱石の産出地として知られ、近年はバイオ燃料の原料となるサトウキビ栽培が盛んである。
2. パンパと呼ばれる肥沃な平原での小麦栽培や牛の放牧が盛んであり、牛肉の輸出が国家経済を支える重要な産業となっている。
3. 地中海性気候を利用したブドウやオリーブの栽培が盛んであり、輸出向けにワインの製造を行う農業が発達している。
4. かつては銀の採掘で栄えた歴史を持ち、現代では塩湖からリチウムイオン電池の原料となるリチウムが採取されている。
- 問7 南アメリカ大陸の広大な国土を持つブラジルにおいて、沿岸部に集中していた人口や産業を分散させ、内陸部の開発を促進する目的で1960年に新たに建設された首都はどこですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. ブラジリア
2. サンパウロ
3. リオデジャネイロ
4. ブエノスアイレス
- 問8 サトウキビなどの植物を原料とする「バイオ燃料」について、2008年の生産量（81万kL）を100とした指数でその後の推移をみると、2010年は105万kL、2012年は110万kL、2014年には131万kLとなりました。これらの統計から読み取れるバイオ燃料の生産状況の説明として、最も適切なものを選択してください。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 2008年から2014年にかけて生産量は一貫して減少しており、指数も100を下回っている。
2. 2014年の生産量は2008年と比較して約1.1倍の微増にとどまり、生産は停滞している。
3. 2014年の生産量は2008年と比較して約1.6倍に増加しており、生産の拡大が続いている。
4. 2010年に生産のピークを迎えた後、2014年にかけては生産量が急激に落ち込んでいる。
- 問9 ニュージーランドの地形の特徴と日本との貿易関係について説明した文として、適切なものはどれですか。なお、日本におけるニュージーランドからの果実の輸入額は、1999年の約154億円から2019年には約459億円へと約3倍に増加しています。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 環太平洋造山帯に位置するため険しい山地が多く、南島の海岸部には氷河に削られた複雑な地形であるフィヨルドが見られ、日本へはキウイフルーツなどの果実の輸出が増えている。
2. 安定陸塊に位置するため大規模な地殻変動がなく、南島の海岸部には広大な砂州が見られ、日本へはブドウなどのワイン用果実の輸入額が1990年代から半減している。
3. 環太平洋造山帯に位置するため火山活動が活発で、北島の海岸部には土砂が堆積してきたリアス海岸が広がり、日本へはバナナなどの熱帯果実の輸出が中心となっている。
4. 安定陸塊に位置するため平坦な土地が広がり、南島の海岸部にはサンゴ礁が発達しており、日本へはオレンジなどの柑橘類の輸出が急激に減少している。
- 問10 オーストラリアの先住民であるアボリジニに関する説明として、彼らの文化や歴史の背景をふまえて述べたものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 18世紀以降にヨーロッパから入植してきた人々によって、新しい伝統として点描画の技法が伝えられた
2. 点描を用いた独自の芸術活動など、古くから受け継がれてきた伝統文化を大切に継承している
3. 現在は都市部での生活が中心となっており、伝統的な芸術活動は完全に行われなくなっている
4. ニュージーランドを中心に生活しており、ラグビーの試合前に行う「ハカ」という舞踊で知られている
- 問11 赤道付近の低地は一年中暑い熱帯の気候となりますが、アンデス山脈にある都市キトのように、標高が高い地域で見られる一年中春のように過ごしやすい気候を何といいますか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 熱帯雨林気候
2. 高山気候
3. 地中海性気候
4. 西岸海洋性気候
- 問12 世界の農産物生産に関する統計資料において、コーヒー豆の生産量が世界全体の約29.2%を占め、世界最大の生産国となっている国はどこですか。日本からの移住者が多く、コーヒー栽培の労働力として歴史的に深い関わりがある国を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. エチオピア
2. ブラジル
3. インド
4. ベトナム